

令和5年7月28日

## 生成 AI の利用に関する具体例

### ○ 概要

本稿は令和5年7月24日に策定した「生成 AI の教学面における取り扱いに関する指針（学生対象）」に基づき、具体例をまとめたものです。レポートや論文を書く際に不明な点があれば、必ず、授業を担当する教員に確認してください。

### ○ 生成 AI の利用が有効と思われる例（有効でも、正確性・信頼性は保証されていないので注意）

- ブレインストーミング
- 論点の洗い出し
- 情報収集
- 文章校正
- 翻訳
- プログラミングの補助など

### ○ やってはいけない例（盗用、剽窃、著作権の侵害、個人情報・機密情報の流出など）

- 生成 AI の出力（文書や写真等）をそのままコピーして自分で考えたかのように論文（レポート）にすること
- 生成 AI の出力を Web ページに掲載したり、SNS 等で拡散したりすること
- 個人情報（住所、電話番号等）を入力すること
- 公開されていない研究情報（発表前の卒業論文など）等の機密情報を入力することなど

### ○ 引用例

- 生成 AI をどのような目的で利用したかを明記すること。
- 生成 AI の入出力部分を「」で囲み、引用したことがわかるようにすること。
- 利用した日、種類、バージョン等を明記すること

#### 引用方法の具体例

山梨県の概要を調査するため、ChatGPT[1]を活用した。以下は ChatGPT に入力した内容とその回答である。

入力：「山梨県の概要を 50 文字程度で教えてください。」

出力：「山梨県：富士山の麓、美しい自然と豊かな果物が魅力の日本の県。」

参考文献

[1] OpenAI, ChatGPT(GPT-3.5 July 20 Version), <https://chat.openai.com/>, 2023.7.27

※ 引用の書式については専門分野によって違いがあるので、必ず、教員に確認してください。

教育改革推進室・副学長  
八代一浩